

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年1月23日

事業所名 チャイルドサポートうらそえ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	活動によって部屋を分けたり、放ディと活動を行ったりしている	
	2 職員の配置数は適切である	8			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	5		分かりやすい構造だが、情報が多い場所もあるので絵カードを用いて視覚的支援を行っていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	毎週掃除の日を設けて消毒や洗車など行っている	備品が古く破損が目立つので週1の掃除の日には備品のチェックや消毒も行っていく
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2		頂いた意見を共有し業務改善につなげていく
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2		・公開しているが自身で確認できていないのでわからない
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	2		イベント後のアンケートにより保護者の意見を共有し、業務改善につなげていく
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		研修後はスタッフと共有している	もっと研修の時間を確保できるように時間配分をしていく 支援について様々な研修を受けていく
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	1	モニタの聞き取りを定期的に時間を作り見直しを行っている	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	3		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	1	支援記録際に長期、短期目標を見る化し意識して取り組めている	
関係機	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	週1で活動についての検討や立案を行っている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	スタッフでローテーションで作成して偏りがないようにしている 個々のレベルに合わせてチーム分けをして工夫している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8		グループ分けをして個別、集団を行っている	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎MTGで今日の流れやグループ分け、ペアなどを共有事項を確認している	支援も目的まで共有していく
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	当日には行えていないが翌日のMTGや毎週金曜のMTGで振り返りを行っている	
関係機	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
関係機	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	2		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		未記入2名 投票のお子さんは指示書を頂き、定期受診の際には保護者から情報共有頂いている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1		未記入1名 医ケア児の主治医や病院と年1回でもカンファレンスし、児の現状と今後の方向性、緊急時の連絡体制を密に連携していくようにする
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	5		自身が把握していない
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6	散歩などで地域の子ども達とあいさつや児童館での活動を行い他児との交流をしている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	7		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8		外部講師によるペアトレーナー個別を行っている	送迎時に情報共有を増やしプログラムに反映できるようにする
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			(分からない1名) 契約の際にお伝えしているがスタッフに周知不足のため把握されていないので今後は契約で行われる書類などの周知を行っていく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		帰りの送迎や保護者会など行い相談を受けながら支援を計画している	保護者会を計画するが参加人数が少ないため、開催日を2日設けて行ってみる 来期は個人面談を行う予定
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		2ヶ月に1回は親子イベントや保護者会を行い家庭の様子を共有しつつ支援の連携を図っている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	月プログラムや保健だよりを発行している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6		初めて老人ホームへ訪問し敬老会に参加させてもらったが、もっと地域との関わりの機会を増やしていく
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	月1回保健防災委員会で計画し行っている	活動プログラムにも訓練日を反映するなど保護者への周知もおこなってい マニュアルをもっと具体的なものに改善してスムーズな対応ができるようにする
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		行なえていないので月1でできるようプログラムに取り入れる
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	7	1	預かりの薬は児の名前が分かるように指示書と一緒に1つのバッグに入れて保管している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2	契約時に確認しクッキングを行っている	現在アレルギー児がない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		共有し対策をみんなで考えて、1か月後には振り返りもおこなっている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		1年に2回の研修があり前半と後半に分けて行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	2		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。